

海外で求められるネイティブ／ ノンネイティブ日本語教師の 資質・能力と「優れた」日本語授業

中 川 良 雄

1. はじめに

近年日本国内外において、日本語学習者数が急激に増加し、日本語教育に変革がもたらされようとしている。同時に学習機関数や教師数も、増加の一途を辿っていることは言うまでもない。国際交流基金の調べによると、2012年から2015年にかけて、学習者数・学習機関数・教師数はやや減少したものの、概ね右肩上がりであると言ってよい¹⁾。

一方で海外の日本語教師のうち、20%強（2015年調べでは、22.3%）はネイティブ（日本人）教師であり、そのネイティブ教師は、大学の日本語教育専攻・副専攻、大学院（博士・修士）、日本語教師養成講座の修了者であったり、国際交流基金、JICA等機関の派遣であったりするが、現地のノンネイティブ（非日本人）教師といかに連携し、協働しながら、授業を進めていくかが課題となる。海外では、日本語教師の数的不足に加えて、ネイティブ／ノンネイティブ教師の連携・協働により、現地の日本語教育を担っていける人材が求められている。さらには、海外へ派遣される日本語教師の資質や能力について探求し、教員養成の現場に活かして、教師の質的向上を目指す必要もある。

本稿では、海外（中国・韓国・タイ・ベトナム）でのネイティブ／ノンネイティブ教師に求められる資質・能力について問い、両者の連携・協働のあり方を探る。ここでの知見は、進展の著しい海外の日本語教育における教師のあり様を示すものとして重要になる。

本稿は、これまで中川（2018, 2019 a, b）、中川・岡本・倉田（2018）、中川・王（2018）、中川・橋本・舟杉（2018）で採ってきた方法論から逸脱するものではなく、一連の調査研究として、中国・韓国・タイ・ベトナムでの調査結果を報告する。

2. 本研究の位置づけ

中川（2010、2011 a, b、2012、2014 等）において、Wragg（1970）が示した「優れた外国語授業」モデルが、どの程度まで外国語授業を一般化したものとなるのか、学習者のニーズや教育観を形成する教室文化に呼応したものとなるのかといった疑問を解くため、中国・台湾・香港・韓国・タイ・オーストラリア等、日本語教師及び学習者を対象に、「いい授業」に関するアンケート調査を実施した。

その結果、それぞれの国や地域で、「いい授業」に関する認識（例；学習者を誉めたり励ましたりすることが多い／学習者を叱ったり注意したりすることが多い、教師は目標言語を用いて説明することが多い／教師は学習者の母語を用いて説明することが多い）が異なっていることが明らかになった。この背景には、教師や学習者がこれまでに培ってきた価値観や人生観が教室文化を形成し、学習ビリーフとなって、言語教育・学習観を形成していることが考えられる。

本研究は、「優れた外国語授業」創出のためのネイティブ／ノンネイティブ教師に求められる資質・能力を問い、両者の連携・協働のあり方を模索することを主目的とするが、学習者の国籍、目標言語、価値観・人生観、背景文化やニーズを抜きにした議論は考えがたい。

そのため本研究では、教師の役割分担やネイティブ／ノンネイティブ教師、そして学習者が期待するもの、教師自身の資質や能力について問うアンケートを基礎資料とする。

学習者の国籍や目標言語、背景文化等によりアンケート結果が異なるであろうことが予想される。そこに研究意義が見出されるが、個別性と共通性（一般

性)を探ることにより、「優れた外国語(日本語)授業」の概念化が図れるものとする。「期待される教師像」が明らかになれば、教師養成も容易になり、教師の資質・能力の改善・向上にも役立つ。

3. 海外(中国・韓国・タイ・ベトナム)の日本語学習者を対象とした調査

海外(中国・韓国・タイ・ベトナム)の日本語学習者を対象に、ネイティブ/ノンネイティブ教員に求める資質・能力について問うアンケートを実施した。

3. 1 アンケート項目の策定

質問紙の作成に当たっては、縫部他(2006)が作成した41項目を参考に、本論の趣旨である、「ネイティブ/ノンネイティブ教員の連携・協働」や「役割分担」に鑑み、質問項目を若干追加・削除して40項目とした。またネイティブ/ノンネイティブ教員ともに同一項目で問うたが、ネイティブ教員に関する項目では、試験・留学経験にかかる酷目(38~40)を削除し、37項目とした。

非日本人(ノンネイティブ)教員及びネイティブ教員に求められる資質や能力について、それぞれ40項目(37項目)を4件尺度法(4:強く求める、3:求める、2:あまり求めない、1:全く求めない)で問うた。

それぞれの項目の平均値を出していく。アンケート項目については、巻末付表参照。

3. 2 調査期間

2016年12月~2018年11月。

3. 3 調査協力者(調査対象者)

調査の対象となったのは、次の通りである。

表1 男/女

国	男	女	無記入等	合 計
中 国	49	177	1	227
韓 国	158	240	2	400
タ イ	92	277	12	281
ベトナム	34	366	0	400

表2 日本語学習歴

国	～1年	～2年	～3年	～4年	5年以上	合 計
中 国	47	32	81	62	5	227
韓 国	66	70	87	152	152	400
タ イ	70	136	120	55	0	381
ベトナム	51	213	110	24	2	400

表3 日本語能力試験レベル

国	N1	N2	N3	N4	N5	未受験等	合 計
中 国	39	52	33	10	0	93	227
韓 国	18	42	71	61	61	147	
タ イ	2	11	64	88	75	141	381
ベトナム	3	55	71	122	15	134	400

4. 調査結果

4. 1 中国の日本語学習者がネイティブ／ ノンネイティブ教員に求める資質・能力

表4 中国のネイティブ／ノンネイティブ日本語教師に求められる資質・能力（上位）

ノンネイティブ教師	ネイティブ教師
学習者に日本語で話すことを促す	日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる
正しい発音やアクセントで流暢に話せる	日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある
授業を楽しくする	日本人の考え方や思考方法を理解している
すべての学習者に公平である	学習者に日本語で話すことを促す
学習者の文法上の間違いを適切に訂正する	正しい発音やアクセントで流暢に話せる
教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする	学習者の発音上の間違いを適切に直せる
日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある	授業を楽しくする
習得が困難なことで容易なことをよく知っている	日本文化を授業の中で体験させてくれる
日本人の考え方や思考方法を理解している	すべての学習者に公平である
日本語の教授経験が長い	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする

表5 中国のネイティブ／ノンネイティブ日本語教師に求められる資質・能力（下位）

ノンネイティブ教師	ネイティブ教師
教師として威厳のある態度で学習者に接する	教師として威厳のある態度で学習者に接する
日本語だけで授業をする	文法や語彙を学習者の母語で説明する
教室内において学習者に規律を守らせる	読むこと・書くことを中心に教える
教科書に沿って文法を重点的に教える	教室内において学習者に規律を守らせる
修士またはそれ以上の学位を持っている	修士またはそれ以上の学位を持っている
ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる	教科書に沿って文法を重点的に教える
文法や語彙を学習者の母語で説明する	翻訳や通訳の練習を取り入れる

文法や語彙を日本語で説明する	試験（JLPT など）についての知識が豊富である
学習者からの質問に即座に答えられる	日本語だけで授業をする
日本語教育に関する資格を持っている	宿題を適度に出し、きちんとチェックする

上表 4・表 5 及び付表（巻末）から、およそ次のようなことが分かる。

(1) ネイティブ／ノンネイティブ教師に求められる資質・能力

- ・「教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする」（6／10）、「授業を楽しくする」（3／8）、「教室外でも話しやすく親しみやすさを感じる」（11／13）、「教室外や課外でも学習者と交わることが多い」（12／15）といった「教師の人間性」を求める声が強い。
- ・「学習者に日本語で話すことを促す」（1／4）は、「ファシリテーター」としての役割が期待される。
- ・「学習者の文法上の間違いを適切に訂正する」（5／12）やネイティブ教師に期待される「学習者の発音上の間違いを適切に訂正する」（20／6）は、双方の「専門性」を活かした資質・能力である。
- ・「正しい発音やアクセントで話せる」（2／5）が強く求められているが、日本語教師として最も必要な「日本語運用能力」である。

(2) ノンネイティブ教師に期待される資質・能力

- ・「習得が困難なことと容易なことをよく知っている」（8／18）は、学習者だった時の「経験知」を活かした指導となる。

(3) ネイティブ教師に強く期待される資質・能力

- ・「日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる」（21／1）は、「カルチャーモデル」としての役割であるが、このほかにも、「日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある」（7／2）、日本人の考え方や思考方法を理解している」（9／3）、「日本文化を授業の中で体験させてくれる」（13／8）は、ネイティブ／ノンネイティブを問わず、中国の学習者が期待する資質・能力であるが、日本語教育の目的は、日本語の習得を通じて日本文化の受容にあることを示唆している。

さらにネイティブ教師には、上記に加え、

- ・「学習者の発音上の間違いを適切に直せる」(20/6) が期待され、「ネイティブ性」が求められる。
- (4) ネイティブ/ノンネイティブ教師に強くは求められない資質・能力
- ・「教師として威厳のある態度で学習者に接する」(40/37) よりも、上記のごとく「親しみやすく、話しやすい」教師を望んでいる。
 - ・「教科書に沿って文法を重点的に教える」(37/32) や「文法や語彙を学習者の母語で説明する」(34/36)、「文法や語彙を日本語で説明する」(33/23) といった構造重視の授業は好まれず、かといって「ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる」(35/27) への期待が薄いのは、自立学習への認識が弱く、「教師依存型」教育が根強い証となろう。
 - ・「修士またはそれ以上の学位を持っている」(36/33) は求められず、それよりも上記「人間性」や「ファシリテーター能力」「日本語運用能力」等の資質・能力が求められる。
- (5) ネイティブ教師に強くは求めない資質・能力
- ・「読むこと書くことを中心に教える」(24・35) は期待されず、「話すこと聞くことを中心に教える」(23/17) がむしろ求められるのは、「ネイティブ性」への期待であり、自ずと役割分担が決まってくる。

4. 2 韓国の日本語学習者がネイティブ/ ノンネイティブ教員に求める資質・能力

表6 韓国のネイティブ/ノンネイティブ日本語教師に求められる資質・能力 (上位)

ノンネイティブ教師	ネイティブ教師
すべての学習者に公平である	正しい発音やアクセントで流暢に話せる
教師として威厳のある態度で学習者に接する	すべての学習者に公平である
正しい発音やアクセントで流暢に話せる	授業を楽しくする
学習者の文法上の間違いを適切に訂正する	学習者の文法上の間違いを適切に訂正する
授業を楽しくする	学習者の発音上の間違いを適切に直せる

学習者の発音上の間違いを適切に直せる	日本人の考え方や思考方法を理解している
進学や就職などの知識が豊富である	日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある
習得が困難なことと容易なことをよく知っている	コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる
日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする
学習者だった時の経験を活かして教える	話すこと・聞くことを中心に教える

表7 韓国のネイティブ／ノンネイティブ日本語教師に求められる資質・能力（下位）

ノンネイティブ教師	ネイティブ教師
日本語だけで授業をする	コンピュータ教材を用いて授業を進める
コンピュータ教材を用いて授業を進める	修士またはそれ以上の学位を持っている
修士またはそれ以上の学位を持っている	教科書に沿って文法を重点的に教える
日本語の教授経験が長い	教師として威厳のある態度で学習者に接する
ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる	試験（JLPT など）についての知識が豊富である
文法や語彙を日本語で説明する	日本語の教授経験が長い
日本への留学経験がある	文法や語彙を日本語で説明する
読むこと・書くことを中心に教える	読むこと・書くことを中心に教える
教科書に沿って文法を重点的に教える	文法や語彙を学習者の母語で説明する
日本語能力試験（JLPT）で N1 に合格している	翻訳や通訳の練習を取り入れる

上表6・7及び付表（巻末）を参照すれば、韓国で求められるネイティブ／ノンネイティブ日本語教師の資質・能力として、およそ次のようなことが分かる。

- ・ネイティブ／ノンネイティブ教師に求められる資質・能力
- ・「学習者の文法上の間違いを適切に訂正する（4／4）や「学習者の発音上の間違いを適切に直せる」（6／5）といった「教師の専門性」が求められる。

(2) ノンネイティブ教師に求められる資質・能力

- ・「教師として威厳のある態度で学習者に接する」(2/34)のポイントが高い。この項目は、中国では下位に位置付けられていた。ネイティブ教師には強く求められない。
- ・自らが学習者だった時の「経験知」を活かして、「習得が困難なことでと容易なことをよく知っている」(8/15)や「学習者だった時の経験を活かして教える」(10)は、学習者と母語を同じくするノンネイティブ教師ならではの資質・能力であり、「進学や就職などの知識が豊富である」(7/26)は、上記「教師の威厳」にもつながるであろう。

(3) ネイティブ教師に求められる資質・能力

- ・「コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる」(13/6)や「話すこと・聞くことを中心に教える」(17/10)は、「ネイティブ性」とも言える資質・能力であるが、ノンネイティブ教師にも比較的高く求められる授業技能である。

(4) ネイティブ／ノンネイティブ教師に積極的には求めない資質・能力

- ・「文法や語彙を日本語で説明する」(6/8)や「教科書に沿って文法を重点的に教える」(9/3)、「読むこと・書くことを中心に教える」(8/8)といった構造重視の授業は好まれない。
- ・「修士またはそれ以上の学位を持っている」(3/2)や「日本語の教授経験が長い」(4/6)、「日本への留学経験がある」(7)、「日本語能力試験(JLPT)でN1に合格している」(10)といった「資格」「経験」は重視されない。

4. 3 タイの日本語学習者がネイティブ／ ノンネイティブ教員に求める資質・能力

表8・9および付表(巻末)から、タイの日本語学習者がネイティブ／ノンネイティブ教師に求める資質・能力を探ってみる。

表8 タイのネイティブ／ノンネイティブ日本語教師に求められる資質・能力（上位）

ノンネイティブ教師	ネイティブ教師
日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる	正しい発音やアクセントで流暢に話せる
授業を楽しくする	すべての学習者に公平である
教室内において学習者に規律を守らせる	授業を楽しくする
学習者の文法上の間違いを適切に訂正する	学習者の文法上の間違いを適切に訂正する
コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる	学習者の発音上の間違いを適切に直せる
外国語としての日本語教授法に精通している	日本人の考え方や思考方法を理解している
コンピュータ教材を用いて授業を進める	日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある
学習者の発音上の間違いを適切に直せる	コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる
ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする

表9 タイのネイティブ／ノンネイティブ日本語教師に求められる資質・能力（下位）

ノンネイティブ教師	ネイティブ教師
日本への留学経験がある	コンピュータ教材を用いて授業を進める
日本語能力試験（JLPT）でN1に合格している	修士またはそれ以上の学位を持っている
学習者だった時の経験を活かして教える	教科書に沿って文法を重点的に教える
試験（JLPT など）についての知識が豊富である	教師として威厳のある態度で学習者に接する
日本語教育に関する資格を持っている	試験（JLPT など）についての知識が豊富である
教科書に沿って文法を重点的に教える	日本語の教授経験が長い
宿題を適度に出し、きちんとチェックする	文法や語彙を日本語で説明する
学習者に日本語で話すことを促す	読むこと・書くことを中心に教える
教室外や課外でも学習者と交わることが多い	文法や語彙を学習者の母語で説明する
教室外でも話しやすく親しみやすさを感じる	翻訳や通訳の練習を取り入れる

- ・ノンネイティブ／ネイティブ教師に求められる資質・能力
- ・「教室を楽しくする（2／3）ための「教師の人間性」が求められることは

言うまでもないが、「教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする」(28/9)や「教室外でも話しやすく親しみやすさを感じる」(31/11)は、ネイティブ教師には求めるものの、ノンネイティブ教師には強く求めない。推察されるに、タイの学習者は、教室外において教師との交わりが少ないのだろうか。「教室外や課外でも学習者と交わることが多い」(32/17)も、ノンネイティブ教師には強く求められていない。

(2) ノンネイティブ教師に求められる資質・能力

- ・反対に、「教室内において学習差に規律を守らせる」(3/20)や「教師として威厳のある態度で学習者に接する」(12/34)は、ノンネイティブ教師に強く求められる。「コーディネイター」能力と考えてよからう。
- ・「日本の歌やアニメ・ドラマなどを紹介してくれる」(1/14)が強く求められるのは、日本のポップカルチャーへの興味からであろう。日本語教師には、「カルチャーモデル」としての役割が期待される。
- ・タイの学習者が基本的に求めているのは、「コミュニケーション重視の学習をたくさん取り入れる」(5/8)で、そのため「ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる」(9/27)や「話すこと聞くことを中心に教える」(17/10)も比較的強く求められる。
- ・「学習者の文法上の間違いを適切に訂正する」(4/4)や「学習者の発音上の間違いを適切に直せる」(8/5)の「教師の専門性」が求められるのは、中国や韓国の場合と同様である。

(3) ネイティブ教師に求められる資質・能力

- ・「正しい発音やアクセントで流暢に話せる」(21/1)という「ランゲージモデル」としての「ネイティブ性」が何よりも重視される。
- ・ネイティブ教師が、「日本人の考え方や思考方法を理解している」(11/8)や日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある」(18/7)という「カルチャーモデル」として働くことは言うまでもない。

(4) ネイティブ/ノンネイティブ教師に積極的には求めない資質・能力

- ・下位項目に着目すると、およそ中国や韓国とは異なった資質・能力が挙がっ

てきていることに気づく。

- ・ノンネイティブ教師には、「日本への留学経験がある」(40)や「日本語能力試験(JLPT)でN1に合格している」(39)、試験(JLPTなど)についての知識が豊富である」(37/3)、「日本語教育に関する知識を持っている」(29/27)などの「資格」「専門性」「日本語運用能力」などは重要視されず、ネイティブ教師にも「修士またはそれ以上の学位を持っている」(16/36)や「日本語の教授経験が長い」(14/32)も強く求められていない。このことは、タイの日本語教育が、中国や韓国とは異なった目的へ向かっていることを示唆し、日本語教師の採用と養成がいかになされているのか、興味を抱かせる。

4. 4 ベトナムの日本語学習者がネイティブ／ ノンネイティブ教員に求める資質・能力

表10 ベトナムのネイティブ／ノンネイティブ日本語教師に求められる資質・能力(上位)

ノンネイティブ教師	ネイティブ教師
教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする	教室外や課外でも学習者と交わることが多い
学習者に日本語で話すことを促す	学習者に日本語で話すことを促す
授業を楽しくする	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする
教室内において学習者に規律を守らせる	日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある
修士またはそれ以上の学位を持っている	教室外でも話しやすく親しみやすさを感じる
学習者の文法上の間違いを適切に訂正する	授業を楽しくする
正しい発音やアクセントで流暢に話せる	日本文化を授業の中で体験させてくれる
教室外でも話しやすく親しみやすさを感じる	外国語としての日本語教授法に精通している
外国語としての日本語教授法に精通している	学習者の発音上の間違いを適切に直せる
すべての学習者に公平である	日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる

表11 ベトナムのネイティブ／ノンネイティブ日本語教師に求められる資質・能力（下位）

ノンネイティブ教師	ネイティブ教師
教師として威厳のある態度で学習者に接する	教科書に沿って文法を重点的に教える
教科書に沿って文法を重点的に教える	教師として威厳のある態度で学習者に接する
読むこと・書くことを中心に教える	読むこと・書くことを中心に教える
日本語だけで授業をする	文法や語彙を学習者の母語で説明する
文法や語彙を日本語で説明する	教室内において学習者に規律を守らせる
ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる	修士またはそれ以上の学位を持っている
日本への留学経験がある	日本語だけで授業をする
コンピュータ教材を用いて授業を進める	絵教材や視聴覚教材など、さまざまな教材を多く用いる
文法や語彙を学習者の母語で説明する	日本語と学習者の母語を比較しながら教える
話すこと・聞くことを中心に教える	翻訳や通訳の練習を取り入れる

上表10・11及び付表（巻末）から、およそ次のようなことが分かる。

(1) ネイティブ／ノンネイティブ教師に求められる資質・能力

- ネイティブ／ノンネイティブ教師双方に共通して求められる資質・能力として、「教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする」（1／3）、「授業を楽しくする」（3／6）、「教室外でも話しやすく親しみやすい」（8／5）といった「教師の人間性」を求める声が強い。
- 「外国語としての日本語の教授法に精通している」（9／8）は、「日本語教師の専門性」にかかる能力である。
- 「学習者に日本語で話すことを促す」（2／2）といった「ファシリテーター」としての役割が期待される。

(2) ノンネイティブ教師に求められる資質・能力

- 「修士またはそれ以上の学位を持っている」（5／32）があるが、ネイティブ教師には強く求められていない。
- 「学習者の文法上の間違いを適切に直せる」（6／13）や「正しい発音やアクセントで流暢に話せる」（7／19）などは、学習者だった時の経験知を活か

した「日本語運用能力」にかかる資質・能力である。

- ・「教室内外において学習者に規律を守らせる」(4/33)は、「コーディネイター」としての資質・能力であるが、ネイティブ教師には、積極的に求められていない。

(3) ネイティブ教師に求められる資質・能力

- ・「日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある」(13/4)、「日本の文化を授業の中で体験させてくれる」(12/7)、「日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる」(18/10)は、「カルチャーモデル」としての役割である。ノンネイティブ教師にも求められる資質・能力である。「教室外や課外でも学習者と交わることが多い」(28/1)が最も強く求められるのは、学習者がネイティブ教師から日本文化を直接吸収したいという声の表れであろう。
- ・学習者の発音上の間違いを適切に直せる」(14/9)は、ネイティブならではの資質・能力、いわば「ネイティブ性」とも言えるものである。

(4) ネイティブ／ノンネイティブ教師に積極的に求めない資質・能力

- ・「教師として威厳のある態度で学習者に接する」(40/36)よりも、上記のごとく「親しみやすく、話しやすい」教師を望んでいる。
- ・「教科書に沿って授業を進める」(39/37)や「読むこと・書くことを中心に教える」(38/35)といった構造的授業は望んでおらず、かといって「話すこと・聞くことを中心に教える」(31/23)ことを強く望んでいるのかというと、そうではなく、「日本語だけで授業をする」(37/31)ことも望んでいない。
- ・「文法や語彙を学習者の母語で説明する」(31/23)ことも「日本語だけで説明する」(36/27)ことも望んでおらず、「理解」することを中心とした授業を好む。
- ・ノンネイティブ／ネイティブ教師双方に、「日本語と学習者の母語を比較しながら教える」(30/29)ことや「翻訳や通訳の練習を取り入れる」(28/28)といった授業は、期待されていないのは、ネイティブ教師のベトナム語運用

能力がそのレベルにまで達していなかったり、学習者の日本語レベルがその域にまで達していないためであろう。表26日で調査対象者の属性を見ると、日本語能力試験N1合格者は1%にすぎず、多くは未受験者である。

- ・「習得が困難なことと容易なことをよく知っている」(21/18)や「学習者だった時の経験を活かして教える」(20)、いわば「ロール・モデル」としての役割は、ノンネイティブ教師には強く求められていない。

5. ネイティブ／ノンネイティブ教師の連携・協働 —まとめ—

本研究を貫く立ち位置は、超言語的な観点から、外国語教育一般に共通する概念を抽出することであった。中国語や英語、フランス語といった個別言語を問わず、また様々な地域で学ばれる言語を問わず、外国語教師として求められる資質や能力には共通性があることを仮説として論を進めてきた。

ノンネイティブ教師には、自らが学習者であったことから、学習者と価値観や文化を共有し、習得が困難なことと容易なことを熟知している。つまり学習者にとっては、ロールモデルとして、教師からの授業やアドバイスを享受する。

一方でネイティブ教師には、目標言語でのコミュニケーションを可能にしてくれる役割が求められる。母語話者であるがゆえ、カルチャーモデルとして、目標文化の伝授者・紹介者となる。

このような資質や能力を備えたネイティブ／ノンネイティブ教師の連携・協働により、「優れた外国語授業」が創出されるものと考えられる。

今回抽出した、「人間性」「専門性」「ファシリテーター」等は、ネイティブ／ノンネイティブを問わず、また目標言語が何であれ、外国語教師に共通して求められる資質や能力であろう。

海外の日本語学習者が求めるネイティブ／ノンネイティブ教師の資質・能力は、決してネイティブ／ノンネイティブ各々に特化したものではなく、両者に共通の資質・能力、はたまた外国語教育に一般化された理念として捉えられる。

またネイティブ／ノンネイティブ教師のいずれかにより強く求められた「日本語運用能力」「コーディネイター」「カルチャーモデル」「ネイティブ性」と

て、排他的関係にあるのではなく、程度の差こそあれ、他方にも求められるものである。

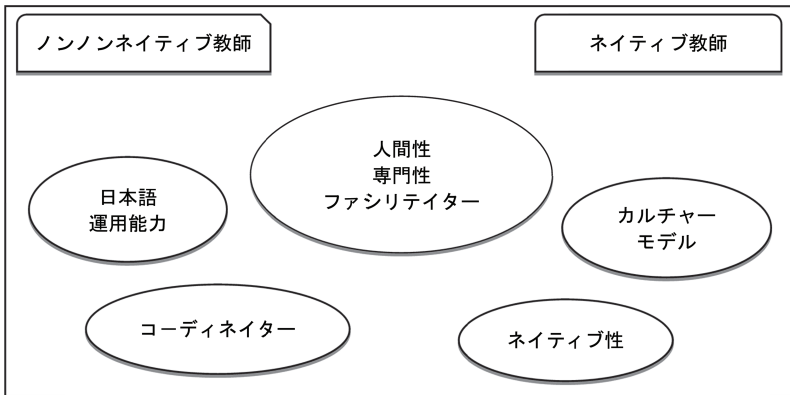


図 ベトナムの日本語教育におけるネイティブ／ノンネイティブ・教師の連携・協働

注

- 1) (https://www.jpff.go.jp/j/project/japanese/survey/result/dl/survey_2015/all.pdf (2019年4月6日閲覧))

参考文献

Wragg, E. C. (1970) "Interaction Analysis in the Foreign Language Classroom", *The Modern Language Journal* 54.

中川良雄 (2010) 「中国の日本語学習者が考える『いい授業』」『研究論叢』第75号、京都外国語大学、pp.143-157.

——— (2011 a) 「中国・台湾・香港の日本語学習者が考える『いい授業』」『研究論叢』第76号、京都外国語大学、pp.271-290.

——— (2011 b)、「教室文化の多様化に対応した『いい授業』－中国と韓国の学習者が考える『いい授業』」『無差』第18号、京都外国語大学日本語学科、pp.3-10.

——— (2012 a) 「日本語学習者の教室文化と『いい授業』観－中国・台湾・香港・韓国の日本語学習者が考える『いい授業』－」『教室文化の多様化に適応した日本語教員の養成をめぐる学際的研究』(平成21年度～平成23年度京都外国語大学学内共同研究研究成果報告書、研究代表者：中川良雄)、京都外国語大学、pp.1-10.

——— (2014) 「教室文化と『いい授業』『いい先生』－中国大陸・アイ湾地区・香

- 港地区の学習者が考える『いい授業』—」『中国日語教学文集之10中日跨文化交際研究 異文化理解につながる日本語教育・日本学研究』大連理工大学出版社、pp.488-496.
- (2018) 「ネイティブ／ノンネイティブ教員の役割分担と連携・協働の可能性を問う」『グローバル化時代における日本語教育と日本研究』ハノイ大学、pp.252-263.
- (2019 a) 「韓国の日本語学習者が求めるネイティブ／ノンネイティブ教員の資質・能力と役割」『研究論叢』第92号、京都外国語大学、pp.87-97.
- (2019 b) 「タイの日本語学習者が求めるネイティブ／ノンネイティブ教員の資質・能力と連携・協働あり方」『無差』第26号、京都外国語大学日本語学科、pp.7-20.
- (2019 c) 「ネイティブ／ノンネイティブ教員に求められる資質・能力と連携・協働の可能中国と韓国を例として—」『日本語・日本文化研究』第27号、京都外国語大学留学生別科、pp.11-22.
- 中川良雄・長濱拓磨・石井香織 (2011) 「教室文化の多様化と『いい授業』観— 韓国の日本語学習者が考える『いい授業』」『日本語教育』第55号、韓国日本語教育学会、pp.13-23.
- 中川良雄・岡本俊裕・倉田誠 (2018) 「ネイティブ／ノンネイティブ教員に求められる資質・能力—中国語学科と英米語学科の学生が求める資質・能力—」『研究論叢』第90号、京都外国語大学、pp.141-153.
- 中川良雄・王尤 (2018) 「中国人日本語学習者が求める母語話者／非母語話者教師の資質・能力」『日本語文化研究』第五輯 (下)、延辺大学出版社、pp.59-66.
- 中川良雄・橋本政義・舟杉真一 (2018) 「ネイティブ／ノンネイティブ教員の連携・協働と役割分担—フランス語学科とドイツ語学科の学生が考える教員の資質・能力—」『研究論叢』第91号、京都外国語大学、pp.49-60.
- 国際交流基金 (2016) : <http://working-asia.com/japanese/> (2018年8月17日閲覧)
- (2017) : <https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2017/thailand.html> (2018年8月18日閲覧)
- 文化庁「平成29年度国内の日本語教育の現状」: http://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/nihongokyoiku_jittai/h29/ (2019年1月21日閲覧)

【付表 アンケート結果】

		中国の学習者		韓国の学習者		タイの学習者		ベトナムの学習者									
		NNT	NT	NNT	NT	NNT	NT	NNT	NT								
1	絵教材や視聴覚教材など、さまざまな教材を多く用いる	3.53	16	3.63	16	2.92	27	3.18	18	3.29	20	3.43	18	3.71	7	3.46	18
2	外国語としての日本語教授法に精通している	3.38	26	3.67	14	3.11	19	2.98	19	3.67	6	3.4	19	3.42	21	3.46	19
3	学習者からの質問に即座に答えられる	3.21	32	3.34	25	3.28	12	3.43	12	3.2	24	3.62	12	3.54	16	3.67	12
4	学習者に日本語で話すことを促す	3.81	1	3.79	4	2.89	28	3.25	16	2.83	33	3.49	16	3.33	26	3.52	16
5	学習者の発音上の間違いを適切に直せる	3.45	20	3.77	6	3.43	6	3.57	5	3.57	8	3.76	5	3.7	8	3.73	5
6	学習者の文法上の間違いを適切に訂正する	3.72	5	3.67	12	3.49	4	3.58	4	3.71	4	3.76	4	3.57	13	3.74	4
7	教科書に沿って文法を重点的に教える	2.98	37	3.07	32	2.77	32	2.61	35	2.77	35	2.81	35	2.53	38	2.62	35
8	教室外でも話しやすく親しみやすさを感じる	3.6	11	3.67	13	3.29	11	3.44	11	2.94	31	3.63	11	3.66	10	3.67	11
9	教室外や課外でも学習者と交わることが多い	3.6	12	3.66	15	2.84	29	3.21	17	2.93	32	3.45	17	3.34	25	3.47	17
10	教室内において学習者に規律を守らせる	2.93	38	3	34	2.96	26	2.98	20	3.71	3	3.38	20	3.42	22	3.4	20
11	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする	3.69	6	3.7	10	3.24	14	3.48	9	3.11	28	3.72	9	3.56	14	3.69	9
12	教師として威厳のある態度で学習者に接する	2.65	40	2.68	37	3.57	2	2.64	34	3.47	12	2.86	34	3.14	32	2.7	34
13	コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる	3.58	15	3.68	11	3.22	15	3.5	8	3.69	5	3.73	8	3.66	9	3.69	8
14	コンピュータ教材を用いて授業を進める	3.32	28	3.48	20	2.43	39	2.48	37	3.58	7	2.64	37	2.32	39	2.41	37
15	試験（JLPTなど）についての知識が豊富である	3.48	18	3.29	30	3.06	21	2.66	33	2.7	37	2.87	33	3.77	4	2.77	33
16	修士またはそれ以上の学位を持っている	3.01	36	3.01	33	2.55	38	2.48	36	3.38	16	2.72	36	2.3	40	2.46	36
17	習得が困難なことと容易なことをよく知っている	3.68	8	3.58	18	3.32	8	3.36	15	3	30	3.57	15	3.35	24	3.53	15
18	授業を楽しくする	3.75	3	3.72	7	3.46	5	3.6	3	3.72	2	3.76	3	3.86	1	3.75	3
19	宿題を適度に出し、きちんとチェックする	3.42	22	3.3	28	2.97	25	2.96	23	2.82	34	3.27	23	3.15	31	3.36	23

20	進学や就職などの知識が豊富である	3.59	14	3.38	21	3.34	7	2.88	25	3.45	13	3.18	25	2.99	35	3.23	25
21	すべての学習者に公平である	3.74	4	3.7	9	3.6	1	3.66	2	3.26	22	3.77	2	3.8	2	3.83	2
22	正しい発音やアクセントで流暢に話せる	3.77	2	3.78	5	3.53	3	3.69	1	3.26	21	3.82	1	3.39	23	6.55	1
23	日本語以外のことにも相談のってくれる	3.28	30	3.37	22	3.03	24	2.97	21	3.03	29	3.38	21	3.6	11	3.38	21
24	日本語教育に関する資格を持っている	3.27	31	3.35	24	3.07	20	2.93	24	2.7	36	3.19	24	3.24	29	3.24	24
25	日本語だけで授業をする	2.8	39	3.3	29	2.32	40	2.97	22	3.4	15	3.37	22	3.53	17	3.37	22
26	日本語と学習者の母語を比較しながら教える	3.46	19	3.32	26	3.13	18	2.87	26	3.22	23	3.13	26	3.1	33	3.18	26
27	日本語の教授経験が長い	3.62	10	3.57	19	2.58	37	2.67	32	3.43	14	2.93	32	3.73	5	2.8	32
28	日本人の考え方や思考方法を理解している	3.66	9	3.8	3	3.27	13	3.57	6	3.49	11	3.76	6	3.78	3	3.72	6
29	日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる	3.43	21	3.85	1	3.17	16	3.37	14	3.82	1	3.59	14	3.54	15	3.58	14
30	日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある	3.69	7	3.82	2	3.31	9	3.52	7	3.36	18	3.75	7	3.6	12	3.71	7
31	日本文化を授業の中で体験させてくれる	3.6	13	3.72	8	3.05	22	3.38	13	3.32	19	3.61	13	3.72	6	3.65	13
32	話すこと・聞くことを中心に教える	3.4	23	3.62	17	3.17	17	3.47	10	3.37	17	3.71	10	3.51	18	3.68	10
33	文法や語彙を学習者の母語で説明する	3.03	34	2.73	36	3.04	23	2.8	29	3.19	25	3	29	3.19	30	3.07	29
34	文法や語彙を日本語で説明する	3.04	33	3.37	23	2.7	35	2.72	31	3.18	26	2.94	31	2.56	37	2.92	31
35	ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる	3.03	35	3.31	27	2.61	36	2.83	27	3.55	9	3.11	27	2.87	36	3.18	27
36	翻訳や通訳の練習を取り入れる	3.39	25	3.24	31	2.84	30	2.82	28	3.53	10	3.04	28	3.31	28	3.12	28
37	読むこと・書くことを中心に教える	3.4	24	2.78	35	2.76	33	2.72	30	3.12	27	3	30	3.49	19	3.04	30
38	学習者だった時の経験を活かして教える	3.52	17			3.3	10			2.69	38			3.48	20		
39	日本への留学経験がある	3.32	29			2.74	34			2.5	40			3.03	34		
40	日本語能力試験 (JLPT) で N1 に合格している	3.38	27			2.78	31			2.63	39			3.32	27		

NT = ネイティブ教師、NNT = のんねいといふ教師、イタリック数字は平均値降順。

